

山の日情報

(第 9 号)

平成28年10月 6日

秋 田 県 生 活 環 境 部
自 然 保 護 課

【活動記録】

9月21日と9月22日に田代岳において木道整備を行いました。

参加者は、県、大館市田代総合支所及び登山愛好者でつくる「田代岳を愛する会」、そして、休日(22日)には能代工業高校山岳部が加わってくれました。

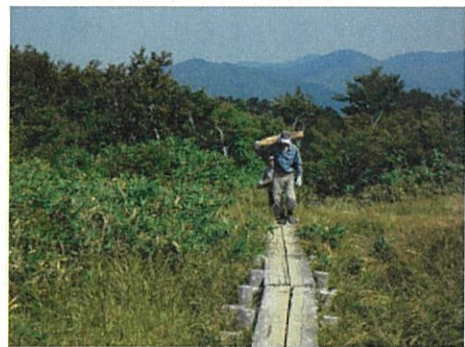
整備作業は、頂上直下の田代湿原で行われ、腐食した木道6箇所(約24m)を新しいものに敷設しましたが、これが言葉で言うほど簡単な作業ではありません。

作業工程を要約すれば次のとおりとなります。

①工具等の荷揚げ(荷下ろし)

チェーンソー、ドリル、ハンマー、スコップ等の使用工具を背負って、9合目まで1時間半程度歩きます。歩荷です。

また、木道の資材である杭と横木を集積箇所から運び出します。(資材は数年前にスノーモービルで搬入しました。)高校生は「いい筋トレ(?)になる。」と言っていました。



②木道の敷板を取り外す。

敷板は約4mあり、5～6人でやっと持ち上がります。

敷板は再利用します。



③腐食した杭と横木を交換する。

木道は池塘が散在する湿原にあるため、杭を引っっこ抜くのがかなりの重労働です。



④高さを合わせ、ぐらつきが生じないように敷板を取り付ける。

杭と横木をボルトで固定します。ドリルとチェーンソー等を使用しての作業は、まさに職人技です!!

こうして、‘シーソー状態’が解消されて快適な木道歩きをすることができるようになります。



今回の作業は、移動時間を含め2日間で合計14時間程かかりましたが、予定していた整備作業を全て終えることができました。

これも、作業に精通し、陣頭指揮をしていただきました田代岳を愛する会のみなさん、県北大会直後にもかかわらず駆け付けてくださり、抜群の力仕事をしてくれた能代工業高校山岳部のみなさんのおかげです。

ありがとうございました。

なお、県としては、今回のような地元山岳会と高校山岳部による協働作業をとおして、登山道等における維持管理作業を次世代に伝えていく機会を来年度以降も設けたいと考えています。

引き続きご協力よろしくお願いします。

